

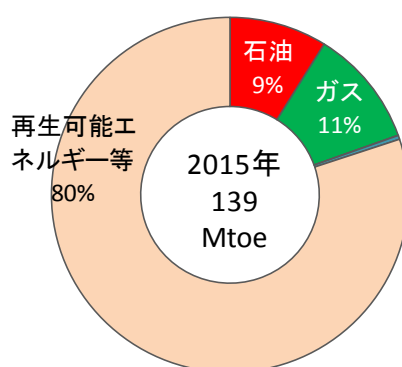
5-1 ナイジェリア

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 139 百万 toe (日本の 0.32 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 0.77 toe (日本の 0.23 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 182%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 64.4 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 5.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 0.40 CO₂ 換算 ton (日本の 4.4%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 原油 49.3 年、天然ガス 117.7 年

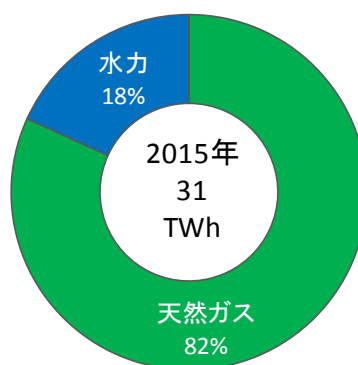
一次エネルギー供給構成 (2015 年)



Country: Nigeria

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



Country: Nigeria

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 2010年4月に内閣再編が行われ、石油・天然ガス政策は主に石油資源省(Federal Ministry of Petroleum Resources)が所管しており、石油・天然ガスに関する規制監督機能は、エネルギー省内の石油資源局(Directorate of Petroleum Resources: DPR)が担っている。また、電力部門は電力省が、環境部門は環境省が政策を所管している。

(2) 基本政策

- 石油・ガス開発促進と輸出拡大による短・中期経済発展、エネルギー部門における透明性確保に重点を置くことを基本政策とし、2008年から利害関係で長く遅延していた石油産業法案が2017年5月に上院にて可決された。
- 2005年に電気事業改革法が施行され、電気事業のアンバンドリングが実施された。同法に基づき、2017年時点では6つの発電会社、1つの送電会社、及び11の配電会社に分割された。

(3) 最近の動向

- 2017年5月に石油産業法案が上院にて可決された。これによりエネルギー産業の透明性が高まり、成長の促進が期待されている。
- 2017年6月に天然ガス関連の政策の改定案が連邦行政評議会(Federal Executive Council:FEC)で承認された。原油依存度を下げ、天然ガスの開発・利用を促進する。
- 2017年7月の産油国会議において、180万b/dに到達次第生産量に上限を設けることに同意した。Niger Delta地域を中心に反武装勢力による攻撃や盗油によって原油生産を妨げられてきたが、2016年からの政府の交渉により、同地域の治安回復が見え始めており、原油生産量および輸出量が増加に転じ始めていることによる。
- 2017年4月、ナイジェリア陸軍はNiger DeltaのIyalama Adama川流域で、違法製油所13ヶ所を破壊したことを発表した。同国海軍司令官によれば、2016年には181ヶ所の違法製油所を破壊し4,200億ナイラ(NGN)(約13億ドル)相当の原油・軽油を没収した。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2016年のナイジェリアからのLNG輸入量は、2015年の462万tonから189万tonへ大きく減少した。
- 2016年8月、丸紅はナイジェリアのEgbin Power Plcと、同国Lagos州におけるガス焚複合火力発電所開発に関する覚書を締結した。同発電所の出力は1,800MW相当で、実現すればアフリカにおける最大のガス焚火力発電所となり、両社は開発に係る諸調査の協力を行っていく予定である。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Nigeria

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		139 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.77 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.30 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		182 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		64.4 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		0.40 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	9 %
	天然ガス	11 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	80 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-82 %
(9) 石油の輸入依存度		-760 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸出先	第1位	インド
	第2位	スペイン
	第3位	ドイツ

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(11) : PIW TOP 20 Crude oil Exporters/Importers